



1

スイーツ好き集まれ!

お菓子愛にあふれたトークセッションが実現!
スイーツ界でも大注目のお二人に、甘美なお話を伺いました。



見どころ!

- > 特別対談 私たち、スイーツに夢中です
- > 「ありがとう運動」とは?
- > 勝手に! 2024年流行スイーツ予想
- > スイーツ愛で一句詠む



特別対談 私たち、スイーツに夢中です



田辺智加(ちか)さん

お笑いカルテット「ぼる塾」メンバー
(吉本興業所属)

にしいあんこさん

日本あんこ協会会長、
和菓子評論家

「ありが糖運動」とは？

砂糖は食生活に欠かせない存在です。しかし、近年の低糖質ブームや、砂糖に関する偏った知識の広まりによって、その消費量や需要は年々減少しています。農林水産省では、砂糖が含まれたスイーツを食べたときの幸福感を、身近な人たちと分かち合える社会をつくることを「ありが糖運動」として展開し、砂糖の消費拡大につながる情報を発信しています。



たいせつな人に
「ありが糖」

© 2019 農林水産省



<https://www.maff.go.jp/j/seisan/tokusan/kansho/kakudai/>



「ありが糖運動」(農林水産省農産局) 担当職員の4名も参加。

砂糖は“生命の源”！

田辺智加さん(以下、田辺) 近年は、砂糖が悪とまではいかないですけど、砂糖をとると良くないみたいに言われてしまうのがとても悲しくて。でも、食品保存に必要な面もあるので、なくてはならない存在だと思いますね。

にしいあんこさん(以下、にしい) 生命の源、糖質＝エネルギーに変わっていくものなので、それを排除してほしくないですね。

田辺 砂糖をとってエネルギーに変えて、その分、動けばいいんですよ。とりすぎは良くないですが、適度な量を守って食べればいいことですし、幸福度も本当に上がります。

にしい 上がりますね。疲れも取れますし。

田辺 そうなんです。砂糖を極端に排除してしまうと、ちょっと余裕もなくなって、ギスギスしてしまうイメージはあります。

スイーツ好きは母からの英才教育

田辺 私は子どものころ、日本橋(東京都)のデパートにあったフルーツパーラーに、母とよく行っていました。そこで食べたババロアが忘れられなくて。老舗デパートでスイーツを食べることが、子ども心に特別でしたし、「このババロアは他と違うな」と感じとっていたことを覚えています。

にしい 僕の忘れられない味は、小学2年生のときのあん巻きです。母の手づくりのあんこを、ホットケーキミックスの残りを薄く焼いたもので巻いて、つくってくれたんです。それが衝撃的においしくて。それから毎日のように「お母さん、あん巻きつくって!」と言っていましたね。

田辺 親からのスイーツ英才教育みたいなの、ありますよね。

にしい あの温もりが今でも忘れられなくて。やっぱり原点は母のつくったあんこなんです。



※イメージです



※イメージです



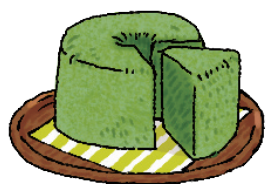
最近、スイーツは食後にとることが多いという田辺さん。

思い出に残る、言葉代わりのスイーツ

にしい 20代後半、僕には辛いことが多い時期で、そんなとき実家から届いた段ボール箱にどら焼きや羊羹などが大量に入っていたんです。僕のあんこ好きを覚えていて、故郷の味を詰めてくれたんですね。泣きながら食べたその瞬間が忘れられなくて。おいしかったし、心に染みしましたね。

田辺 私は去年、シンガポールで、鮮やかな緑色のパンダンシフォンケーキ^(注1)と出会いました。興味本位で一口食べたら、バニラやココナッツのような幸せな香りに包まれて! 滞在中、パンダンシフォンケーキを買いまくりました。タクシの運転手さんに、中一レベルの英語で一生懸命話しかけて情報収集していたら、ついには「君はMiss パンダンシフォンケーキだ!」と(笑)。ケーキへの情熱だけで人とつながれるのかと思いましたね。お菓子から交流というか、仲良くなること多いですよ。

にしい スイーツは本当にコミュニケーションツールだと思います。甘いものって、誰しもが喜べるもので、絶対にその一瞬だけで終わらないですよ。必ず続きがあって、交流が生まれていくみたいな。



※イメージです

(注1)
パンダンシフォンケーキ:シンガポールのローカルスイーツ。使用するタコノキ科植物「パンダン」の葉は、独特の甘い香りが特徴で東洋のバニラとも呼ばれる。

春に食べたい旬スイーツ

田辺 やっぱりいちごのスイーツを食べたくります。春になると、福岡県にある和菓子屋さんのどら焼きに、生のいちごが入るんですよ。

にしい ワンハンドでいけちゃいますね! 僕は、関西発祥の桜餅の道明寺がおすすめです。桜餅のシーズンになると、関山(かんざん)という桜の花が満開で、ほわっと大きく咲いた花と葉っぱが、まるで道明寺が木の枝にいっぱい生っているように見えるんです。それが可愛くて、関山の花と手元の桜餅を見比べながら食べるわけですよ。春を最強に味わえる贅沢です。

田辺 和菓子で季節を感じること多いですよ。私も、気温より店頭の和菓子の名前を見て、「花びら餅……正月かぁ」なんて思ったりします。



※イメージです



エネルギーを出すためにトレーニング前には大福を食べるといふにしいさん。

勝手に! 2024年流行スイーツ予想

——「ありが糖運動」では毎年、流行スイーツの予想企画を行っています。2024年の5選は以下のとおりです。

- ネオ和菓子(進化形和菓子)**…定番の和菓子にフルーツや洋風な素材をミックスするなど、創意工夫されている。
- 猫プリン**…ぶるぶる揺れる可愛さに大注目! 優しいミルクプリンのような味わい。
- オニワッサン**…おにぎりやクロワッサンの掛け合わせ。韓国ではすでに話題に。
- カップドーナツ**…フルーツや生クリームなどトッピングが豊富。食べ歩きできるドーナツ。
- ヴィエノワ**…フランス発祥のヴィエノワというパンに生クリームやフルーツを飾り付け。

詳しくはこちら→

<https://www.maff.go.jp/seisan/tokusan/kansho/kakudai/>



田辺 若者の和菓子離れに対して、見た目も華やかに、可愛くおいしくという「ネオ和菓子」は、素晴らしい文化だと思ってます。

にしい スパイスも活用されていたりして、進化が止まらない状況ですよ。既存のお菓子を飾りつけるデコスイーツの波もきている感じがしますね。

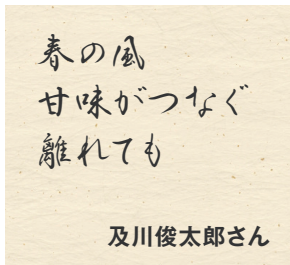
田辺 どれもおいしそうですが、ドーナツって一生流行り続けるものかなと思います。ビジュアルも可愛いですよ。懐かしさもあり、新しさもあり。

にしい あの懐かしさはなんですかね。この流行予想、あながち間違っていないですね!

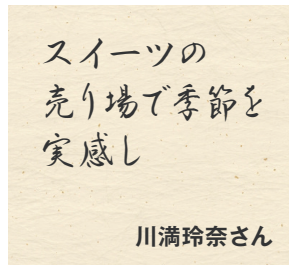
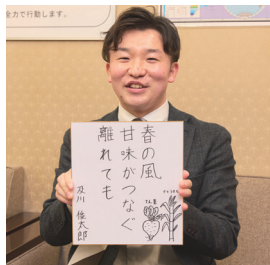
スイーツ愛で一句詠む

トークの終わりに、スイーツへの愛を川柳に込めて発表！ 個性豊かな句に一同、盛り上がりました。

「ありが糖運動」担当職員のみなさん



及川俊太郎さん

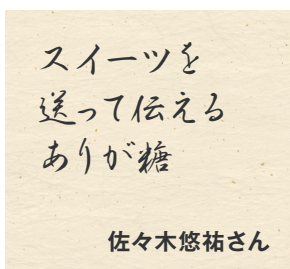


川満玲奈さん

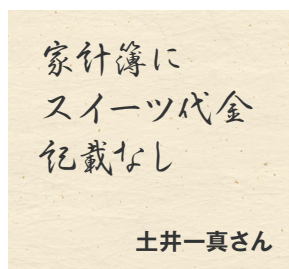


旅立ちや別れの季節でもある春ですが、「あのとき、友達と食べたアレおいしかったよな」といった記憶が、いつまでも思い出に残ることを詠みました。

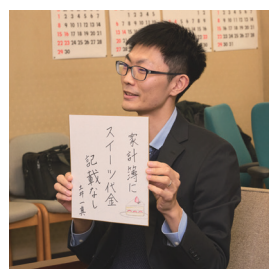
チョコ売り場の盛り上がりにはバレンタインを感じたり、コンビニにいちごスイーツが並ぶのを見て「もうすぐ春か」と、季節を想ったりしています。



佐々木悠祐さん



土井一真さん



スイーツって、感謝の気持ちを伝えるのに一番ぴったりだなと思っています。「ありが糖運動」のセールスも入れてみました。

食事の別腹と同じように、スイーツは家計簿に計上しないで楽しむといった一句です。スイーツ、いっぱい買いたいですもんね。



スイーツは
幸せ運ぶ
天使だよ

田辺智加さん

日本の
スイーツ界に
あんこあり

にしいあんこさん

スイーツの存在が天使だって思います。幸せって目には見えなもののだって思っていましたけれども、幸せ＝スイーツ＝天使なのではないかと。

あんこがあるからこそ、日本のスイーツ界は世界に打って出られると思っています。そこに必要なものが砂糖であることは間違いありません。